

内田寛さん

“静寂の格闘技”で 視覚障がいの世界を体験

5月25日、体育センターで北本市スポーツ協会の「ゴールボール」教室が開催されました。ゴールボールとは、鈴の入ったボールを相手ゴールに入れて得点を競う競技。公認普及指導員である内田寛さんからボールの受け方・投げ方を学び、試合で実践。アイシェード（目隠し）を装着すると、まっすぐ投げられていたボールが明後日の方向に飛んで行ったり、どこからボールが来るかわからず「ドキドキするね」と話していた皆さん。ラインテープの感触を頼りに自分のポジションを探し、ボールの鈴の音などから徐々に見えない世界で方向を掴み、チームメイトで声を掛け合う連係プレーも生まれ、静かに熱中していました。内田さんは「視覚障がいの世界を楽しみながら体験する機会として企画しました。今後は経験者を増やして対戦も行っていきたいです」と話していました。

北本団地マーケット＆ 北本団地「中庭」3周年！

6月9日、北本団地商店街で「北本団地マーケット＆北本団地「中庭」3周年イベントが開催されました。マーケットではアロママッサージや手作り品、焼き菓子、農産物等のお店が並び、かき氷やびざのキッチンカーも出店。出店者さんとおしゃべりしたりテーブルを囲んで食事を楽しむ姿が見られました。「中庭」は、団地出身の若者たち等による「北本団地活性化プロジェクト」で生まれたシェアキッチンで、ジャズライブやカフェ、子どもの居場所など多様な催しが日常的に開催されています。この日は、「中庭」に出入りしている大人・子ども中心にダンスやライブ、手話講座、人形劇などでお客さんたちを楽しませていました。また、大学生による駄菓子屋さんや子どもたちが出店する子どもマーケットも開催され、年代も障がいの有無も問わず団地で皆が思い思いの時間を楽しんでいました。



ブローハン聡さん

山口純子さん

子どもの“心”を 聴くためにできること

6月8日、文化センターで子どもの居場所づくり団体のネットワーク「きたもとBASE」主催のセミナー「子どもの心を聴くためには」が開催。子ども食堂の担い手など約150人が参加しました。初めに行われたのが、全小学校区に子ども食堂を立ち上げた「熊谷こどもまんなかネットワーク」の事例発表。次に、児童養護施設を出た若者を支援し、自らも児童養護施設出身であるブローハン聡さんが、子ども時代に地域との関わりで救われた経験などについて話しました。会場では、ブローハンさんの体験に涙する人も多く、当事者の子どもとして「特別扱いされるよりも、当たり前を受け入れてもらえること、日常と一緒に過ごすことで救われます」という言葉を受け、「自分の支援のあり方のヒントになりました」と話していました。

世界を舞台に大活躍☆ GO！GO！山口兄弟！！

こんにちは。市民リポーターの山北陽子です。



昨年2月にご縁を頂いて取材させていただいた、キックボクシング・アマチュア選手の山口功太郎くん（中学2年生）・倫太郎くん（小学3年生）兄弟。

日本ムエタイ協会のときとしゆき舘総之会長に、2人のタイトル獲得の実績やこれまでの試合の数々が評価され、今年3月にタイ・プーケットで開催された「6th the international Thai martial arts games2024」にムエタイルール日本代表として出場し、見事、兄弟揃って金メダルを獲得されました！

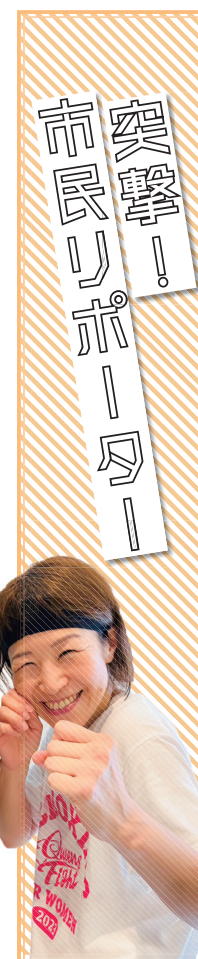


さらに海外の大舞台で勝利を決めた後も、兄・功太郎を追いかけるようにK1アマチュア全日本タイトルやEXPLOSIONタイトル獲得など大躍進が止まらない弟・倫太郎くん。

そして今年5月には、二人揃って北本市スポーツ協会より、優秀選手賞を受賞されました。

我が北本市から世界を相手に勝負する山口兄弟をこれからも全力応援です！
また、山口兄弟はもちろんのこと、北本市で、さまざまな分野で頑張っている人をピックアップし応援取材させていただければと思いますので自薦・他薦問わずぜひお知らせくださいね！

山北さんに取材してもらいたい人は、市長公室シティプロモーション・広報担当（☎594-5505）へご連絡ください。



山北陽子さん